

宮城県気仙沼向洋高等学校 沿革抄

- 明治 34.2 気仙沼町立水産補習学校設置決議
 4 町役場の一部に仮校舎として開校
 35.4 郡立本吉水産学校に昇格
 44.4 実業学校本科程度(甲種)となる
- 大正 10.3 県立水産講習所として県に移管
- 昭和 2.3 宮城県水産試験場気仙沼分場講習部に改組
 17.1 宮城県水産講習所に再び改組
 20.4 所管を農林省より教学科に移され、県立宮城県気仙沼水産学校となる
 5 開校記念式典を挙げる
 23.4 学制改革により宮城県気仙沼水産高等学校に昇格
 24.2 水産製造科増設認可
 26.2 漁業科卒業生に対して海技免状の特典を受ける
 28.9 練習船「宮城丸」(221.5トン)竣工
 29.2 機関科・無線専攻科の両科増設認可
 31.3 漁業専攻科増設認可
 36.9 無線専攻科卒業生に対し三級無線通信士予備試験・英語の試験免除の認定
 38.3 無線通信科増設認可
 41.3 練習船「みやぎ丸」(396.65トン)竣工
 42.7 県議会に於いて学校移転の議案採択
 43.3 気水丸(初代 2.5トン)竣工
 44.3 無線通信科に三級無線通信士予備試験及び英語・電気通信術の試験免除の認定
 46.2 学校移転用地の階上塩田跡の埋立工事起工式
 48.12 第一種船舶職員養成施設(乙二航・内乙二機)に指定
 51.3 水産実習船「宮城丸」(496.09トン)竣工
 10 本校教育振興会設立
 52.4 新校舎完成引渡し、移転
 11 機関運転実習室完成引渡し
 53.3 水産製造科・無線通信科男女共学制実施
 製造実習室増築完成、冷凍・冷蔵実習室完成、体育館完成
 10 新校舎落成記念式典挙げる
 54.3 第一種船舶職員養成施設(乙一航・内乙一機)に指定
 漁業製造実習棟完成・気水丸(2代目 4.86トン)竣工
 推薦入学制度認可
 55.8 プール(25m)完成

- 56.12 生徒会館完成
 57.9 校木「けやき」植樹
 58.2 柔道場完成
 12 船舶局無線従事者証明の訓練校として認定
 59.3 第一種船舶職員養成施設(四級航・四級内機)に指定
 救命・消火等免許講習機関に指定
 校庭改修(暗渠排水等)、校歌・応援歌のレコード作成
 61.3 同窓会より新校旗贈呈
 63.3 ウェイトリフティング部練習場完成
 7 ヨット部艇庫完成
- 平成 元年.3 水産実習船「宮城丸」(497トン)竣工
 2.3 水産情報機器(パソコン 21台)導入
 6.3 家庭科実習棟完成
 4 宮城県気仙沼向洋高等学校に校名変更
 3学科(情報海洋科・産業経済科・機械技術科)全科男女共学
 7.3 小型実習船「シーラス」(19トン)竣工
 7 総合実習棟完成・駐車場完成
 8.2 情報海洋科海洋類型に一級小型船舶操縦士養成施設の指定
 情報海洋科情報電子類型に電気工事担任者(アナログ第3種)
 「電気通信技術の基礎」の試験免除の認定
 9.1 情報海洋科情報電子類型に第一級海上特殊無線技士の認定
 専攻科無線科に第四種海上無線通信士の認定
 3 機械技術科にFMS学習装置導入
 11.4 機械警備実施(校舎・実習棟)
 13.11 百周年記念事業・校舎中庭整備・大仁田厚氏記念講演・百周年記念式典
 14.3 産業経済科コンピュータ42台更新
 14.3 情報海洋科海洋類型 レーダーシミュレーター導入
 14.5 創立百周年記念誌「航跡永久に 一輝く未来」刊行
 15.3 海洋総合実習船「宮城丸」(650トン)竣工
 17.10 校舎棟耐震補強工事完了(H16・17年度)
 19.9 漁業科実習工場及び機関実習棟、耐震補強工事完了
 23.3 東日本大震災により校舎に甚大な被害を受ける
 23.5 仮設校舎建設までの間、学科ごとに3校に分かれて教育活動を再開
 23.11 仮設校舎に移転

平成 23 年 12 月現在